

社会学部部報

- ◇昭和41年4月18日 鈴木信五郎教授が脳出血のため急逝された。20日に神戸東部教会に於て、社会学部葬を行なった。
- ◇6月28日 L. B. グレアム教授はカナダへ帰国のため退職、30日羽田を出発した。
- ◇6月29日 学部研究会 発表者 領家穰教授「社会的時間論試論」、清野正義助手「労働協業集団の研究における若干の問題点について」、三村美美子助手「私的扶養と公的扶養」
- ◇7月30日 田中国夫教授は、学院留学規定により、約一ヶ年の予定で米国ミシガン大学へ留学の為出発。
- ◇9月21日 学部研究会 発表者 塩原勉助教授「社会変動論について」比嘉正範助教授「韻律の言語的必然性について」

会員の著書

『家族社会学』大橋薫，増田光吉編集の内，社会学部光吉利之講師が「家族と親族」を執筆，昭和41年5月。
『放送の公共性』日本民間放送連盟放送研究所編集の内，社会学部津金沢聡助助手が「放送の公共性・その歴史的検討」を担当，昭和41年6月。
大道安次郎教授『老人社会学の展開』ミネルヴァ書房，昭和41年9月。
小関藤一郎教授 デュルケーム『フランス教育思想史』（仏訳）—社会学古典叢書Ⅰ—普遍社，昭和41年9月。

学 界 消 息

◇経済社会学会

数年前から準備されていたこの学会も漸く学会開催のはこびに至り，2月13日神戸大学で第一回大会を開催した。本学からは大道教授，小関教授など参加した。研究発表では小関教授が「フランスの経営者の問題」について報告を行なった。

なお第一回関西西部会は6月5日名古屋市南山大学で開催された。

◇関西社会学会

第17回関西社会学会は5月21日，22日の両日立命館大学の産業社会学部で開催された。本学からは万成教授「日本の工業化と職業移動」塩原助教授「社会変動論」遠藤講師「組織合理化に対する従業員の態度」の報告があった。

◇日本新聞学会

日本新聞学会（1965年度春季）は，5月28，29日東洋

大学で開催された。個人研究発表にひきつづき，日高六郎氏らの司会で「国際政治とマス・コミュニケーション」のシンポジウムがもたれた。現場の第一線解説記者も出席し，ベトナム戦争をはじめ国際問題の報道のあり方など活潑に討論された。本学部からは藤原教授，津金沢助手が出席。

◇日本経済政策学会

日本経済政策学会の本年度大会は，5月28日，29日の両日にわたって，神戸大学において開催された。日本経済の転型期論をめぐって充実した報告と討論が行なわれた。本学部からは，丹羽助教授が出席した。

◇理論・計量経済学会西部部会

理論経済学会および計量経済学会の両学会合同による本年度西部部会は，6日4日名古屋市の愛知県産業貿易館において開催された。計量経済学における測定や推定の諸問題に関して，基礎的な再検討を試みることを意図した多くの実験的計算結果が発表されたことが，この学会での大きな成果であると思われる。本学部からは，丹羽助教授が出席した。

◇エコノメトリック・ソサエティー（国際計量経済学会）第1回極東大会

エコノメトリック・ソサエティーの第1回極東大会は，本年6月30日—7月2日にわたって，東京の日本経済研究センターにて開催された。この大会は，合衆国学者の参加も多く，実質的には太平洋大会といった構成のものとなった。外国よりの参加者十数名を含め，約150人の計量経済学者が参集し，主として計量経済学の基礎的理論について報告・討論が行なわれた。本学からは丹羽助教授が出席した。

◇英語教授法研究会

昭和41年6月東京厚生年金会館で開催された研究会で，比嘉助教授は「語学学習における難しさの概念」について特別講演を行なった。

◇L. L. A 全国大会

昭和41年7月天理大学で開催の昭和41年度大会で比嘉助教授は「L. L. の発展を阻むもの——言語心理学的考察」と題して研究発表を行なった。

◇太平洋学術会議

第11回太平洋学術会議は8月下旬から東京で開催された。この社会科学部門において本学万成教授は9月1日“Occupational Structure and Mobility in Japan”を英語で報告した。

◇日本時事英語学会

関西支部研究会は9月3日午後，本学部校舎で開かれ，西尾教授が出席した。

第8回年次大会は10月7, 8の両日, 早稲田大学で開かれ, 西尾教授が出席, シンポジウム「英字新聞の構成について」を司会した。

◇日本臨床心理学会

第2回日本臨床心理学会は, 10月7, 8, 9日東京家政大学で開催され, 本学部からは武田建助教授が出席, 「精神分裂病と神経症患者の対人知覚」について発表した。

◇日本心理学会

第30回大会は10月11, 12, 13日の3日間, 名古屋大学に於て開催された。本学部からは武田建助教授が社会学部部門において「ソシオメトリック知覚と対人感情の関係(2)」と題し発表, 杉山貞夫助教授は知覚部門での討論者をつとめ, 更に, 産業心理学部門で, 「標識の色変化および間隔変化による速度制御についての

研究」と題し発表した。

◇日本社会学会

第39回日本社会学会は10月22日, 23日東京の明治学院大学で開催された。本学部から多数関係者が出席したが, 万成教授と松井茂樹(大学院修士課程在学)の共同の研究発表「経営の構造と機能」があった。

◇日仏社会学会

定例総会は10月24日東京の日仏会館で開催され本学部からは小関教授が「フランス社会学の最近の動向」について報告を行なった。

◇日本ソーロウ協会研究会

9月30日, 日本ソーロウ協会研究会において, 枋原教授が「Walden 再読——文学と人生, そして性と自然」について, 講演を行った。

執筆者紹介

(掲載順)

小関 藤一郎	社会学部教授
大道 安次郎	社会学部教授
万 成 博	社会学部教授
枋 原 知雄	社会学部教授
余 田 博通	社会学部教授
遠 藤 惣一	社会学部講師
藤 原 恵	社会学部教授